



Fly to the World!



ヴァンワート空中散歩証明書を持って記念撮影



会長あいさつ



洲本市国際交流協会
琴井谷 隆志

平成24年度は近隣諸国との領土問題があり、国としての外交関係は冷えていました。

新しい政権になり、年初のダボス会議では日本の存在感がアピールされたと伝わっています。

そして、我々の活動では念願でありました、オハイオ州ヴァンワート市への親善訪問を行うことができました。私は4年ぶりの訪問で、以前は畑しか無かったヴァンワート市郊外は風力発電施設の風車が数百基並ぶ光景にすっかり変わっており驚きました。

しかし、出迎えてくれた人々のホスピタリティーは以前と変わらず温かいもので、環境は変わっても人と人との交流の大切さ是不変であると、あらためて感じました。

この度、会長を辞することとなりました。4年間皆様のご協力により務めてまいることができ、心より感謝申し上げます。

春からの、木下会長の新体制に対しても、皆様にはこれまで以上のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

目次

- P.2.3 Visit to Van Wert
- 4.5 Students Report
- 6.7 国際交流体験記
- 8.9 Welcome to our class!
(外国語講座)
- 10 基礎知識講座・
ハワイとスカイプ交流
- 11 会員交流部会の報告
- 12 総会と臨時総会の報告
年度の事業報告
2012.4 ~ 2013.3 The annual

Visit to Van Wert

～ 10,000km 彼方の姉妹都市へ ～

7月26日から8月1日までの間、市の姉妹都市であるアメリカ合衆国オハイオ州ヴァンワート市へ、琴井谷会長以下6人の協会員と8人の市内高校生からなる親善訪問団を派遣しました。ヴァンワート市は、五色町と1996年に姉妹都市の提携を行い、お互いに生徒を派遣し交流を重ねています。今回の派遣は7年ぶり10度目の訪問です。



7月26日



家族に見送られて、ヴァンワート市へ出発

日本とヴァンワート市の時差13時間…長い1日目が始まります!!

ヴァンワート市へ向かうバスの車窓から壮大な風景をみて、アメリカに到着したことを実感。到着するとすぐ、ドン・ファーマー市長とホストファミリーの温かいお出迎えをうけ、一緒にアートセンターや中学校・高校を見学し、地元新聞社からの取材も受けました。いよいよ高校生たちはホームステイ先へ。



7月27日

2日目はヴァンワート市からもらった、おそろいのポロシャツを着て、消防署、裁判所、アメリカ合衆国最初の州立図書館であるブラムバック図書館などを見学。ランチにおっきなピザを頬張り、ウォーターパークでは地元の子供たちと水遊びを楽しみました。



夕暮れ時に開かれる公園でのコンサートの前イ

ベントとして「ソーラン節」と「上を向いて歩こう」を披露しました。円陣を組んで気合をいれて、いざ舞台へ。突然の大雨や音響の不具合などパブニングもありましたが、みんなで力を合わせて練習の成果を発揮することができました。その後は、プロミュージシャンのコンサートを満喫しました。

7月28日



3日目は飛行場からスタート。セスナ機に乗って、トウモロコシ畑に描かれたアートを目下に空中散歩を体験、操縦桿を握ってパイロット気分になった人も。昼食後にアメリカンサイズの農機具メーカーを見学し、農業規模の違いを感じました。教会では、オルガニストが奏でる荘厳なパイプオルガンの音色を間近で感じ、実際の鍵盤に触れた人もいました。

夜はホストファミリー・ピーターさんのお家でさよならパーティ。素敵なお家と広いお庭で大興奮、たくさんのお手製のお料理をご馳走になりました。そして、感謝の気持ちを込めて、英語で「カントリー・ロード」の歌をプレゼント。一緒に口ずさんでくれて、とても楽しいひと時を過ごすことができました。



7月29日

お別れの朝。お世話になった方々との別れを惜しみながら、たくさんの思い出を胸に、空路シカゴへ。

シカゴ・オヘア空港で現地ガイドさんと合流し、まずはシカゴ名物のロックンロールマクドナルドでランチ。ドキドキしながら英語で注文しました。

街全体が建築博物館ともいわれるシカゴの街並みを眺めながら、産業科学博物館へ。人体の輪切りの展示など科学の勉強になるものばかり。

夕食は、プライムリブで有名なローリーズで本場のアメリカ料理を満喫しました。



7月30日

5日目は、ウィリスタワーのアクリル展望エリアでの身のすくむ思いからスタート！アメリカの三大美術館であるシカゴ美術館では、有名な絵画がたくさんあり、鑑賞する時間が足りないくらいでした。市内散策の後、メジャーリーグを観戦!!シカゴ・カブスの本拠地であるリグレーフィールドへ向かいました。平日にも関わらずほぼ満員で、ホットドックを片手に野球観戦を楽しみました。



7月31日・8月1日



ついに、最終日。

うしろ髪をひかれながらも、日本へ。

今回は、アメリカ中西部の大穀倉地帯にある姉妹都市ヴァンワート市と摩天楼の発祥地であるシカゴを訪問しました。異文化の中での交流を通じ、目標に向けて決意を強く抱いたことや日本の魅力を再認識できたことは、かけがえのない財産となったことでしょう。この出会いを大切に、何らかの形でつながりを保ってほしいと願っています。



同行 協会員

★ Students

Peter & Anitaの ところアステイ

Masahiro &
Takahiko

この写真はパーター家の近くにある湖です。パーターとアニータは我が子のように接してくれました。陽気でヴァンワートでの生活は非常に楽しかったです。

また、初めてのことも刺激的なことばかりで将来への考えを変えることが出来た貴重な一週間でした。



Janet Crummeyの ところアステイ

Haruka & Chie

ヴァンワート滞在3日目に小型の飛行機に乗せてもらいました。初めての経験で、上空から見た景色に心を打たれました。

ホームステイ先のジャネットの家には沢山の家族写真が飾っており、家族の愛で溢れていることに強く感動しました。また私達のことにも本当の家族のように大切にしてくれました。

ヴァンワートは私達の第二の故郷です。大人になったら絶対にヴァンワートへ帰り、またみんなと思い出を作りたいです。



帰国後の交流



私のヴァンワートで撮った写真が第三十六回兵庫県高等学校総合文化祭で佳作を受賞しました。高校時代の良い思い出が出来ました。

Ayaka



誕生日カードやアメリカで人気の物を送ってくれました。これからも交流を続けていきます。 Ayaka & Mai



帰国後、思い出を綴ったコルクボードを制作し、ヴァンワートへ送りました。

Haruka & Chie

Report ☆

Frank & Linda Hoffmanの ところでステイ

Nana & Mizuki

私達はホストファミリーと一緒に書道をしました。初めての書道でしたが、書きたい字を凄く上手に書いていました。日本の文化を共有出来たことは良い思い出になったし、楽しかったです。

最後の日はFrankとLindaとの別れが惜しく、凄く泣きました。とても優しくあった2人に会いにまたヴァンワートへ行きたいです。



Rocky & Lori Mc Vaighの ところでステイ

Ayaka & Mai

初めは不安だったけど、ホストファミリーはとても優しく、本当に楽しいホームステイでした。



家には大きなプール、ゲームルーム、バーがあり驚きました。お父さんのRockyは料理上手で、お母さんのLoriは優しく、子供のkatieは沢山話しかけてくれて、とても良い家族でした。

短い間だったけど充実した一生の思い出になりました。



ジャネットからもらったこのブレスレットは宝物です。私達が家族だと証明するものです。

Haruka & Chie



このカレンダーは帰国後に作成し、ホームステイファミリーへ送りました。

Nana

これからの夢について

2013年の夏、アメリカのNY州へ留学することになりました。自分にとっては大きな挑戦となるので、感謝を忘れず成長できるよう頑張ってきました！

Masahiro Kiba

私は将来外国に住み、何らかの形で洲本市国際交流協会に貢献したいです。私が経験したように、若い世代の方に海外の魅力を知ってもらえるような仕事に就きたいと思います。

Mai Yoshino

英語は学校の勉強の一つだと思っていましたが、今回のヴァンワート訪問を通して英語は「伝え合うもの」だと強く感じました。もっと英語を勉強し、外国の人と交流を深めていきたいと思います。

Takahiko Kano

私は将来、外国で海外から来た留学生をサポートする仕事に就きたいと思っています。そのためにも、学生時代に私自身が留学を体験し、海外での生活に少しでも慣れたいと思っています。

Haruka Mizoguchi



過去に洲本市国際交流協会のホームステイ派遣・受け入れ事業に参加、お手伝いしていただいた2人の青年から、国際交流異文化の体験談を寄稿いただきました。

自力でハワイ



すみくら りょうすけ
◇角倉 僚介君

2011年に行われたハワイ島からの訪問団受け入れ時のホストファミリー。

昨年高校を卒業して、今は愛知県立大学外国語学部国際関係学科で学ぶ大学生。昨年の夏にShirakawaファミリーを頼って自力でホームステイをしました。

きっかけは、2011年10月のホストファミリー体験だった。ずっとホームステイに興味を持っていたが実現できず、代わりにホストファミリーをし、その時の彼らとフェイスブックで交流を続け、再会の約束をしていた。

大学生になり、約束していたハワイに行こう！と決め、不安はあったが「何とかなるさ」という思いで旅立った。

ところが、入国審査でいきなりハブニング！ 訪問先の住所を聞いていなくて別室へ！！ 電話番号を伝え、確認がとれて解放された。

やっと切り抜けランチを買うと、飲み物をもらい忘れ、取りに戻ると「もう飲んじゃったわ～」と軽いジョークが返ってくる。「アメリカ人、怖っ！マジかよ」と困惑する僕を見て、並んでいたお客さんも大爆笑。



泊めてもらったのはSHIRAKAWA家。ステイ先のお兄ちゃんに初日の夜からいきなりハワイ大学の寮へ連れて行かれ、卓球やビリヤードをして大学生の友達ができる。毎日遊びに出かけていたら、一緒に本気でお母さんの説教をくらったことも。

2週間のステイ中、ホームシックもあった。一対一では話せても大勢いる中での会話にはついていけず、疎外感を感じた。友だちにメールで嘆いた結果、帰国後、届いた携帯電話の請求書に日本の母にも説教を……。

人との出会いが一番の宝物になった。日本とハワイの文化の違いを話し合った大学でできた友達、フラを教えているお母さんの生徒、教会や誕生日会、友人宅でのホームパーティーなどで出会った人……。英語も日に日に慣れ、ハワイでしか使わないフレーズも教えてもらって使えるようになった。そんな多くの人との出会いがハワイでの時間をより濃いものにしてくれた。

一人でチャレンジしたハワイホームステイ。これもホストファミリーをしたから実現できた。僕の海外への大きな足がかりをつくってくれた洲本市国際交流協会に感謝している。

そして、今度はもう少し自信を持って、海外へと出かけたたい。もっともっといろんな人や文化と出会うことを楽しみに、日々がんばっている。





ロシア異文化交流



なかむら かいと
◇中村 海人君

2009年に行われた当協会ホームステイ参加学生。
帰国後、米国に1年間留学、現在は、関西学院大学国際学部の大学生。これまで協会のホームステイ派遣高校生への研修講師や来訪時のボランティア通訳をしていただいています。昨年、夏、洲本市が派遣したクロンシュタット区への青年訪問団に参加しました。

姉妹都市のあるサンクトペテルブルク・クロンシュタット区は、ロシアでも西端に位置するため、街中ヨーロッパの雰囲気が漂っていました。正直に言うとロシアに着いたときは、何か雰囲気が暗くて人々の様子から少し怖いなあと感じていました。それは天気が良くない(私たちが行った時は、比較的良かった)からなのか、人々が無表情なのかわかりませんが、明らかに日本とは違った雰囲気が流れていました。

しかしロシア到着翌日に行われた文化交流会では、このような私のイメージとは逆のすばらしいものとなりました。ロシアのダンスや音楽に触れ、最初はその迫力に圧倒されたと同時に感銘を受けました。日本の音楽を披露する場面では、雅楽、ピアノ、太鼓を使った繊細かつ迫力のある演奏がされ、日本の音楽の素晴らしさに改めて気付かされました。

その後のパーティーでは、洲本に来た時のメンバーと再会したり、新たに友達を作ることもでき、ロシアの方々の温かくて陽気で優しい人間性に触れて、ロシアという国のイメージががらりと変わったように思えます。

日露間にはまだまだ問題はありますが、私たち一人一人が関わる時には壁はありません。人と人とのつながりを強めていくことで、国家間の友好にもつながるのではないかと思います。私自身これからも向こうで知り合った人たちと連絡を続けて、この友好関係を発展させていきたいと思っています。





WELCOME TO OUR CLASS!

9月13日(木)～12月6日(木)の木曜日、計10回で外国語講座が行われました。今年で17回目を迎えるこの講座は、英会話は初級・中級・上級の3クラスと中国語1クラスの計4クラスに分かれて行われます。

今年は新しくステファン・フジシゲ先生が講師として参加され、英会話初級を担当。上級にジョン先生、中級にヴェロニカ先生、中国語に幹田先生をお迎えし、始めは緊張気味の生徒さん達も、授業が始まるとアットホームで楽しく受講されていました。

「初めは不安だったけれどとても楽しく、毎回楽しみです」と、今年初参加の受講生の言葉も聞かれ、皆さん楽しく毎回参加されていました。

では、今年初参加のステファン・フジシゲ先生の講座の感想と、受講生の感想をどうぞ。



After the class. English Teacher : Fujishige Stephen Makoto

This past autumn was my first experience teaching an adult English conversation class. Before the class began in September, I did not know what topics and materials would be best to introduce to the beginner's English class. I was very nervous and hoped that the students would be patient with me. After my first lesson I discovered that everyone was very patient and gracious.

I asked the students what they wanted to learn and received many responses. Most wanted to use English for travel, so I made several lessons about useful travel English.

We learned about asking for and receiving directions, commonly used phrases, and ordering food at restaurants. We also studied simple grammar and played English word games such as Scatagories and Pictionary.

The class had a variety of individuals whose skill levels and interests were different. To communicate with the class, I spoke English and used Japanese when English was not understood. But after several weeks, I found that the class understood my English very well.

Each week at the beginning of class, I gave the class a simple warm-up activity called scrambled sentences. I wrote sentences that were out of order and asked them to make the words into correct sentences. I also wanted to give everyone a chance to speak, so we spent some time each week talking about our weekend plans and past experiences.

Although it was a conversation class, I wanted to give the class some practice with writing in English. I asked them to write journals on two separate occasions as homework. Reading everyone's journals gave me a chance to get to know each student better and help improve their English grammar. After returning the journals to the students, I asked the class to come to me with any questions about my corrections.



In my favorite class we had an open conversation about Christmas and New Year's traditions in Japan and America. I really enjoyed hearing about special Japanese foods and learned a lot from our conversation. For the end of the year performance, the students decided to sing Jingle Bells. We practiced the song and performed it in front of everyone. I had a lot of fun teaching the beginner's class this year and am looking forward to teaching again next year!

英会話講座を受講して

英会話初級受講：守先 あゆみ

私は、今年のお正月にアメリカへ旅行に行ったのですが、空港や現地のお店などで、英語を聞きとることができても、話すことができませんでした。

それ以来、英会話を習ってみたいけど、教室に通ったりするのは勇気があるな…と思っていたところ、英会話講座の開催を知り、英会話を始めるきっかけになればと思い受講しました。始まる前は、ちゃんと英語が話せるのかな、こんなレベルで受講して大丈夫かな、と不安はありましたが、授業が始まるとそんな不安はなくなりました。

初級クラスでは受講生の年代も様々で、とても和やかで楽しい雰囲気を受講することができました。講師のステファン先生は、熱心でとても楽しい授業をしてくださいました。先生の出身地であるハワイのお話や、アメリカでのクリスマスの過ごし方など、楽しいお話も聞くことができました。また、先生はギターが弾けるとのことで、最後の授業ではクラス皆で先生の弾くギターに合わせ「ジングルベル」を歌いました。とても楽しいクラスだったので、最後の授業が終わることが寂しく感じました。

10回の講座を終えて、英語を聞きとることや、話すことに抵抗がなくなったと思います。これまでは、英会話を難しく考えていましたが、気軽に使ってみようと思うようになり、これを機に、また外国へ旅行に行き、英語を話してみたいと思います。また、来年も機会があれば参加したいと思います。



中国語講座を受講して

中国語講座受講：政安 郁枝

私は、大学で中国語を専攻し、4年間勉強していました。在学中には、中国や台湾に旅行に行ったり、週5日授業があったりと中国語に触れる機会も多く、検定試験も受検しました。しかし、大学を卒業して就職してからというもの、めっきり中国語に触れる機会が減り、語彙力も文法も聞き取る力もさっぱり落ちてしまいました。

せっかく習ったものをもったいないと思っていた矢先、異動で淡路島にやってきて、洲本市国際交流協会が主催する外国語講座の機会を得て、再び中国語を学ぶことになりました。

今回で2回目の受講になりますが、昨年度は比較的発音練習に時間をかけ、日常会話などに重点をおいて教えていただいたように思います。今年については、発音はもちろんですが、文法や重要構文についても少人数でしっかり教えていただき、学生時代に習って忘れていた記憶を呼び覚ますことができ、とてもためになる授業でした。これを機に、自分でも中国語の勉強を継続していかなければならないなあと感じました。



また、中国語という言葉についてだけでなく、中国の伝統文化やならわし、最近の情報についてたくさんお聞きしたり、中国語のDVDや音楽を聴いたり、知的好奇心を刺激する内容が盛りだくさんで、毎週とても楽しい時間を過ごすことができました。

最後になりますが、外国語講座の準備・実施に多大なご尽力をいただきました皆さまに感謝申し上げますとともに、ますますのご発展をお祈り致します。

基礎知識講座



みきた 顧敏先生
◇幹田 顧敏先生



中国・上海生まれ。結婚後、1997年より淡路島に在住。2008年より洲本市国際交流協会の外国語講座（中国語）を担当して頂いています。2010年には外国文化理解事業の一環として、神戸中華街の春節祭をご案内頂きました。

昨今、領土問題等で、近隣諸国と様々な問題が生じています。そもそも教育・文化が違うため、お互いに誤解を生むことも多いのかと思います。そこで今回、難しい政治的な話ではなく、親しみやすい一

般的な生活も含めて、中国の文化を紹介頂き、私たちが知らないあるいは誤解していることを判り易く解説して頂くために、2月15日(金)御食国において、基礎知識講座を開催させていただきました。

外国語講座で講師もされている、幹田先生を、お招きして中国の文化のご講演をいただきました。春節祭や中国に帰られた時に、撮られた写真をもとに芸術・文字・食べ物など、いろいろな文化を紹介していただきました。また、後の交流会でも幹田先生をはじめ、会員の皆様と共に、交流ができ大変有意義な一日となりました。少し中国の歴史を紹介いただくには、時間が短かった…かな？と反省しております。

当日、参加できなかった方、中国文化に興味がある方には、是非とも外国語講座の中国語にご参加いただければ、幹田先生からもっと詳しくお話しをお聞かせいただけるし、中国への交流の輪が広がると思いますので、ご参加お待ちしております。
研修部会長 池澄 泰彦

ハワイとスカイプ交流

企画部会は、ホームページの更新、交流事業の在り方についての検討、会報誌SIAの発行が主な役割でした。

ホームページに関しては昨年度大きなリニューアルをしましたので、今年度は事業が終わるごとにコンスタントに報告を掲載するよう心がけました。

交流事業の在り方の検討については、インターネットなどのIT技術を使って交流を試みようということでヒロ市とスカイプを使って通信することになりました。

2月13日10時（ハワイは前日の15時）市役所の応接室に琴井谷会長はじめ5名の役員と事務局が集まりました。スカイプをつなげるとそこにはゴーヤさんとマスハラ先生の姿が！画面上ですが、実際相手の顔が見えると感動するものですね。簡単な挨拶の後、番所理事と西本理事の英語力に助けて頂きながら来年度の訪問計画の打ち合わせなど和やかな雰囲気のもと行われました。またカメラを移動してハワイの空や外の風景を見せてくれたりする展開もありました。

画面や音声はずれるような場面もありましたが、費用のかからない簡便な交流方法のひとつとして今後の事業に活用できると思います。

最後になりましたが、このSIAを発行するにあたり、原稿依頼に快諾しご協力くださいました皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。
企画部会長 出口 雅也



平成24年度は SIA会員交流会を4回開催しました

5月26日海月館にて、第1回の会員交流会を総会後に開催しました。

アトラクションでは、各テーブルからの代表者に国際的なクイズに早押しで答えて得点を競い合うゲームで豪華賞品を目指して楽しんでいただきました。

また、出席された全員にもれなく賞品が当たりますので毎回とても盛り上がっていただけます。



クイズ大会



体験報告会

第2回会員交流会は、ヴァンワート市ホームステイ報告会として、8月20日タイムアフタータイムにて開催しました。

今回初めてとなる、ヴァンワート市へのホームステイには男子学生2名、女子学生6名が参加しました。現地での体験の報告と、現地で披露したソーラン節の演舞を再現していただきました。

12月14日の第3回会員交流会は、クリスマスパーティーを兼ねて浜千鳥にて臨時総会終了後に開催しました。

今回のアトラクションは、いつもより斬新でもっと参加者全員が楽しめるものをと部会で検討を重ねました。

結果、利き酒に倣い試飲したものと同じドリンクを当てるという単純明快なゲームでしたが、人間の味覚は当てにならないもので、部会メンバーの期待を裏切って正答率は意外と低く逆にその分、ギャラリーはその姿を見て一喜一憂していただき出席された皆さんが大いに笑い、楽しみ、盛り上がりて懇親を深めることができました。



ドリンク当て大会



顧敏先生を囲んで交流

2月15日は御食国にて研修部会の基礎知識講座と合同で第4回会員交流会を開催しました。交流会前半は、中国語講座の幹田顧敏先生に「中国の文化について」お話頂き、後半は、先生にも同席頂き参加会員とともに歓談、交流させていただきました。

来年度も工夫を凝らして、気軽に参加できる楽しい会員交流会を企画していきますのでみなさまの参加をお待ちしております。

総会と臨時総会の報告

平成24年度 洲本市国際交流協会定例総会

平成24年度の総会が5月26日(土)に市内のホテルで開催されました。琴井谷会長のあいさつに続いて5議案が提出され、すべての案件が原案のとおり承認されました。

事業計画では、五色町時代からの姉妹都市であるヴァンワート市への高校生のホームステイ派遣、外国語講座、基礎知識講座の実施などが決定されました。

臨時総会

琴井谷隆志会長が今年度末に任期満了となることから、12月14日(金)、ウェルネスパーク五色浜千鳥にて臨時総会が開催されました。この結果、木下学副会長の会長就任が承認(任期・平成25年4月1日より2年間)されました。また監事には伊富貴幸廣・向山和義両監事の留任が承認されました。会長の職を担うこととなった木下副会長は「皆様のご協力を得て、伝統ある洲本市国際交流協会の会長の重責を全うしたい。」と決意を語られました。



2012.4~2013.3 The annual

APRIL 4月20日 役員会

MAY 5月26日 総会 第1回会員交流会

JUNE 6月9日 ヴァンワート市親善訪問参加者説明会

JULY 7月21日 ヴァンワート市親善訪問結団式

7月26日~8月1日 ヴァンワート市親善訪問ホームステイ

AUGUST 8月20日 第2回会員交流会(ヴァンワート報告会)

SEPTEMBER 9月13日 外国語講座開講式第1回講座

9月13日~12月6日 外国語講座

OCTOBER 5月26日 外国語講座実施

10月19日 役員会

NOVEMBER 外国語講座実施

DECEMBER 12月6日 外国語講座閉講式 茶話会

12月14日 臨時総会 参加者説明会 第3回会員交流会

JANUARY

FEBRUARY 2月13日 ハワイとスカイプで交流

2月15日 第1回基礎知識講座 第4回会員交流会

MARCH 3月18日 第9回淡路島国際交流団体等連絡会

SIA発行

★SIA新規会員募集中★



洲本市国際交流協会では、外国文化を学ぶイベントや外国語講座、会員の方を対象とした交流会などを行っています。また、年に1度会報誌をお送りしています。会員だけの特典もありますので、ご友人をお誘いのうえ、是非ご入会ください。

お申込・お問い合わせ 洲本市国際交流協会事務局(洲本市役所秘書課)

TEL:0799-26-0175 FAX:0799-23-2340

ホームページ随時更新中! <http://www.awaji-is.or.jp>

